

学生確保の見通し等を記載した書類（資料） 目次

資料 1	別紙様式（別紙 1、別紙 2 の 1・2 の 2、別紙 3）	2
資料 2	過去 5 年間の地域別志願者数の割合	6
資料 3	競合校の概要	7
資料 4	競合校との比較分析の観点	8
資料 5	設置構想についての入学意向アンケート調査報告書	12
資料 6	設置構想についての人材需要アンケート調査報告書	64

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

資料 1 - 別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1			
2			
3			
4			
5			
	全 体		

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県等)	充足率		
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1	神奈川県	102.00%	96.29%	101.05%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1	理・工学系【博士前期課程】	102.95%	106.05%	106.56%
2	理・工学系【博士後期課程】	41.62%	45.18%	50.03%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の収容定員の充足状況

○収容定員充足率

申請者が設置する全ての大学等（大学、短期大学、高等専門学校のみ）の
既設の学部（短期大学又は高等専門学校は学科）について記載してください。

大学等名	学部等名	学科名	収容定員	学生数 (令和7年5月1日現在)	収容定員充足率	備考
明治学院大学	文学部		2020人	2074人	1.02	
		英文学科	900人	934人	1.03	
		フランス文学科	460人	444人	0.96	
		芸術学科	660人	696人	1.05	
	経済学部		2760人	2841人	1.02	
		経済学科	1300人	1321人	1.01	
		経営学科	840人	879人	1.04	
		国際経営学科	620人	641人	1.03	
	社会学部		1960人	2018人	1.02	
		社会学科	980人	1026人	1.04	
		社会福祉学科	980人	992人	1.01	
	法学部		2580人	2610人	1.01	
		法律学科	800人	789人	0.98	認可の基準附則第2項及び第4項の適用者 1名
		政治学科	620人	623人	1.00	
		消費情報環境法学科	900人	913人	1.01	
		グローバル法学科	260人	285人	1.09	
	国際学部		1200人	1228人	1.02	
		国際学科	980人	1007人	1.02	
		国際キャリア学科	220人	221人	1.00	
	心理学部		1280人	1319人	1.03	
		心理学科	700人	739人	1.05	
		教育発達学科	580人	580人	1.00	
	情報数理学部		160人	161人	1.00	
		情報数理学科	160人	161人	1.00	令和6年4月開設
	大学合計		11960人	12251人	1.02	

※上記には、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項を
適用した場合の学生数及び収容定員充足率を記入してください。その場合は、備考にその内訳を記入してください。
※大学院、専攻科、別科、募集停止を行った学部等については記載不要です。
※行は適宜追加してください。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

大学学部学科等名：明治学院大学情報数理学部情報数理学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員						6人	6人
	延べ人数	志願者数					4人	4人
		受験者数					4人	4人
		合格者数					4人	4人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					4人	4人
		受験者数					4人	4人
		合格者数					4人	4人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数						4人	4人
学校推薦型選抜	募集人員					12人	20人	16人
	延べ人数	志願者数				4人	9人	7人
		受験者数				4人	9人	7人
		合格者数				4人	9人	7人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				4人	9人	7人
		受験者数				4人	9人	7人
		合格者数				4人	9人	7人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					4人	9人	7人
一般選抜	募集人員					48人	40人	44人
	延べ人数	志願者数				351人	306人	329人
		受験者数				337人	288人	313人
		合格者数				163人	119人	141人
		うち追加合格者数				17人	0人	9人
		辞退者数				105人	75人	90人
	実人数	志願者数				284人	248人	266人
		受験者数				274人	231人	253人
		合格者数				138人	98人	118人
		うち追加合格者数				16人	0人	8人
		辞退者数				80人	54人	67人
	入学者数					58人	44人	51人
共通テスト利用入試	募集人員					20人	14人	17人
	延べ人数	志願者数				237人	287人	262人
		受験者数				236人	287人	262人
		合格者数				104人	137人	121人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				90人	117人	104人
	実人数	志願者数				237人	287人	262人
		受験者数				236人	287人	262人
		合格者数				104人	137人	121人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				90人	117人	104人
	入学者数					14人	20人	17人
その他の特別選抜	募集人員						0人	0人
	延べ人数	志願者数					23人	23人
		受験者数					20人	20人
		合格者数					10人	10人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					2人	2人
	実人数	志願者数					23人	23人
		受験者数					20人	20人
		合格者数					10人	10人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					2人	2人
	入学者数						8人	8人
合計	募集人員					80人	80人	80人
	延べ人数	志願者数				592人	629人	611人
		受験者数				577人	608人	593人
		合格者数				271人	279人	275人
		うち追加合格者数				17人	0人	9人
		辞退者数				195人	194人	195人
	実人数	志願者数				525人	571人	548人
		受験者数				514人	551人	533人
		合格者数				246人	258人	252人
		うち追加合格者数				16人	0人	8人
		辞退者数				170人	173人	172人
	入学者数					76人	85人	81人

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員				80人	80人	80人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	—	0.95	1.06	1.01
歩 留 率	—	—	—	0.28	0.30	0.29

(備考)

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：大学院進学説明会（既設大学院全体）

	R5 年度入試	R6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	290人	330人	①取組概要 本学大学院への進学を検討する受験希望者の多くが参加する企画であり、オンラインで実施している。内容は、既設組織の特色、学納金や奨学金・奨励金制度、入試情報の紹介、在学生による体験談、各専攻の専攻主任教員による説明や質疑応答などで、受験希望者にとって有益な情報提供の場となっている。 【開催実績】 R6年度入試対象 (R5開催) : 計6回 (6/3. 16. 24. 11/4. 17. 25) R7年度入試対象 (R6開催) : 計6回 (6/1. 14. 22. 11/9. 15. 30)
うち受験対象者数 (b)	290人	330人	
うち受験者数 (c)	182人	158人	
うち入学者数 (d)	67人	62人	
(受験率 c/b)	62.8%	47.9%	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者の入学率は20%前後であることから、従来の参加者層とは異なる約80名の参加者を得ること、新設組織の入学定員15名（博士前期課程）を充足することができると考えられる。
(入学率 d/b)	23.1%	18.8%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：留学生進学説明会（既設大学院全体）

	R5 年度入試	R6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	72人	81人	①取組概要 本学大学院への進学を希望する留学生を対象とした外部団体主催の説明会に参加し、各専攻の特色、学納金や奨学金・奨励金制度、入試情報や施設等の案内を実施している。 【開催実績】 R6年度入試対象 (R5開催) : (6/6. 7. 9/1) R7年度入試対象 (R6開催) : (6/4. 5)
うち受験対象者数 (b)	72人	81人	
うち受験者数 (c)	68人	69人	
うち入学者数 (d)	14人	12人	
(受験率 c/b)	94.4%	85.2%	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学に興味を持つ留学生に対して大学院進学説明会【実績①】の案内や、出願におけるサポートを行うことで、入学定員の15～20%前後の入学者を確保している。 既設組織の留学生比率が15～20%であり、新設組織においても同等の比率を想定すると、入学定員15名（博士前期課程）のうち2～3名の入学者を確保できることが見込まれる。
(入学率 d/b)	19.4%	14.8%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：大学院案内の配布（既設大学院全体）

	R5 年度入試	R6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	502人	398人	①取組概要 大学院案内の資料請求を受け付け、全国に発送し、他のPR活動と連動して学生募集を行っている。
うち受験対象者数 (b)	502人	398人	
うち受験者数 (c)	182人	158人	
うち入学者数 (d)	67人	62人	
(受験率 c/b)	36.3%	39.7%	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 新設組織に関してもR9年度版の大学院案内に構想内容を掲載する。既設組織の入学率は15%前後であることから、大学院進学説明会【実績①】の参加につなげるための有効な取組となっており、新設組織においても十分に効果があると考えられる。従来の参加者層とは異なる約100名に配布することで、新設組織の入学定員15名（博士前期課程）を充足することができると考えられる。
(入学率 d/b)	13.3%	15.6%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：大学院入試過去問題の閲覧・ダウンロード（既設大学院全体）

	R5 年度入試	R6 年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	1491人	1431人	①取組概要 本学大学院事務室の窓口での閲覧対応に加え、大学院ウェブサイト上で直近3年分の過去問題を閲覧・ダウンロードができる仕組みを構築している。
うち受験対象者数 (b)	1491人	1431人	
うち受験者数 (c)	182人	158人	
うち入学者数 (d)	67人	62人	
(受験率 c/b)	12.2%	11.0%	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 毎年、過去問題のダウンロード件数は1,000回を大きく超えており、新設組織においても開設年度以降、多くの受験希望者による利用が見込まれる。
(入学率 d/b)	4.5%	4.3%	

過去5年間の地域別志願者数の割合

年度	学部	1位		2位		3位		4位		5位	
		都道府県	割合	都道府県	割合	都道府県	割合	都道府県	割合	都道府県	割合
2021	全学部	東京都	32.2%	神奈川県	27.8%	千葉県	7.8%	埼玉県	6.9%	静岡県	3.3%
	国際学部	神奈川県	29.6%	東京都	29.3%	外国の学校等	7.2%	埼玉県	5.8%	千葉県	5.1%
	情報数理学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2022	全学部	東京都	32.7%	神奈川県	27.4%	千葉県	7.9%	埼玉県	6.7%	静岡県	3.2%
	国際学部	神奈川県	30.5%	東京都	28.8%	千葉県	5.9%	埼玉県	4.9%	静岡県	4.6%
	情報数理学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2023	全学部	東京都	32.3%	神奈川県	27.3%	千葉県	8.5%	埼玉県	7.5%	静岡県	2.8%
	国際学部	東京都	31.9%	神奈川県	28.9%	千葉県	6.1%	埼玉県	5.4%	静岡県	3.6%
	情報数理学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2024	全学部	東京都	32.2%	神奈川県	29.2%	千葉県	7.6%	埼玉県	6.4%	静岡県	3.3%
	国際学部	神奈川県	29.8%	東京都	29.6%	千葉県	6.1%	静岡県	5.0%	埼玉県	3.9%
	情報数理学部	神奈川県	36.7%	東京都	33.0%	埼玉県	5.6%	静岡県	4.2%	千葉県	3.9%
2025	全学部	東京都	31.8%	神奈川県	29.9%	千葉県	7.3%	埼玉県	6.7%	静岡県	3.3%
	国際学部	神奈川県	32.7%	東京都	29.5%	埼玉県	5.5%	千葉県	4.9%	静岡県	4.5%
	情報数理学部	神奈川県	42.6%	東京都	25.4%	茨城県	4.3%	外国の学校等	3.7%	静岡県	3.7%

全学部には、文学部・経済学部・社会学部・法学部・国際学部・心理学部・情報数理学部が含まれる。
このうち、国際学部と情報数理学部については、4年間を通じて横浜キャンパスを拠点とするため、
両学部を対象とした別集計を行った。

競合校の概要

博士前期課程

大学院・研究科・専攻	設置区分	入学定員	収容定員	学位	所在地
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	私立	180	360	専門フロンティアプログラム：修士（理学）、修士（工学） 複合フロンティアプログラム：修士（学術）	神奈川県相模原市
武蔵野大学大学院 データサイエ ンス研究科 データサイエンス専攻	私立	10	20	修士（データサイエンス学）	東京都江東区
中央大学大学院 理工学研究科 ビ ジネスデータサイエンス専攻	私立	30	60	修士（工学）、修士（理学）	東京都文京区
神奈川大学大学院 理学研究科 理 学専攻	私立	59	118	修士（理学）	神奈川県横浜市
横浜市立大学大学院 データサイエ ンス研究科 データサイエンス専攻	公立	32	64	修士（データサイエンス）	神奈川県横浜市
東海大学大学院 理学研究科 数理 科学専攻	私立	8	16	修士（理学）	神奈川県平塚市

博士後期課程

大学院・研究科・専攻	設置区分	入学定員	収容定員	学位	所在地
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	私立	15	45	博士（理学）、博士（工学）	神奈川県相模原市
武蔵野大学大学院 データサイエ ンス研究科 データサイエンス専攻	私立	3	9	博士（データサイエンス学）	東京都江東区
中央大学大学院 理工学研究科 ビ ジネスデータサイエンス専攻	私立	3	9	博士（工学）、博士（理学）	東京都文京区
神奈川大学大学院 理学研究科 理 学専攻	私立	3	9	修士（理学）	神奈川県横浜市
横浜市立大学大学院 データサイエ ンス研究科 データサイエンス専攻	公立	3	9	博士（データサイエンス）	神奈川県横浜市

競合校との比較分析の観点（博士前期課程）

大学院・研究科・専攻	教育内容と方法
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	体系的な教育課程/コース制度/専門フロンティアプログラムと複合フロンティアプログラム
武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	主要3基軸を規定した、技術、知識、方法論の教育研究の実現/国際的な大学・研究機関との連携による分野横断型研究の実現
中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻	データサイエンティストに求められる3つの力(ビジネス力・データサイエンス力・データエンジニアリング力)の習得と高度な応用/企業や研究機関との共同研究/社会人への対応/都心のキャンパスと優れた研究環境/積極的な留学生の受け入れ
神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻	グローバル化社会における技術関連分野で中核となり得る人材の育成
横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	データアナリティクス力、データエンジニアリング力、社会展開力という3つのデータサイエンス力を鍛え、社会実装を可能とする高度な人材を育成
東海大学大学院 理学研究科 数理科学専攻	時代の変化に合わせ、「専門に対応できる基礎力」「総合的な判断力」「プレゼンテーション能力」を身につけた人材を養成

大学院・研究科・専攻	入試（受験時期、入学手続き時期との関係）
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	9月入試（試験9月5～6日、発表9月12日、支払期限2026年1月30日）
武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	I期入試（試験9月21日、発表9月26日、支払期限10月6日）
中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻	一般入学試験夏季（試験7月12日、発表7月18日、支払期限2026年1月15日）
神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻	一般入試（試験8月30～31日、発表9月5日、支払期限第一次9月17日、第二次2026年2月27日）
横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	一般入試（試験8月19日、発表9月5日、支払期限9月17日）
東海大学大学院 理学研究科 数理科学専攻	一般入試（試験7月6日、発表7月16日、支払期限11月28日）

大学院・研究科・専攻	修学支援の内容（奨学制度など）
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	国際学会参加支援、薦田先端学術賞
武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	武蔵野大学家計奨学金、武蔵野大学教育ローン利子補給奨学金、武蔵野大学開学記念経済支援奨学金、武蔵野大学災害給付奨学金、武蔵野大学沼田奨学金、武蔵野大学大学院研究支援奨学金、武蔵野大学大学院特別奨学金、武蔵野大学課外活動等奨学金

中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻	中央大学大学院給付奨学金、中央大学大学院指定試験奨学金
神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻	米田吉盛教育奨学金、激励奨学金、一般社団法人神奈川大学宮陵会大学院給付奨学金
横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	YCU給付型奨学金、長期履修学生授業料減免制度、緊急応急対応型授業料減免、災害見舞金
東海大学大学院 理学研究科 数理科学専攻	大学院研究支援奨学金（研究奨励型）、応急奨学金

大学院・研究科・専攻	就職支援の内容
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	オンライン企業研究会、企業説明会、Ash青山学院大学就職活動ハンドブックの発行、インターンシップ
武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	教育訓練給付制度対象
中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻	進路・就職ガイダンス
神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻	キャリア・就職ガイダンス、神大就活ステップアップ講座
横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	キャリアメンター制度、キャリアサポーター制度
東海大学大学院 理学研究科 数理科学専攻	キャリア支援プログラム

大学院・研究科・専攻	取得できる資格
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	中学校専修免許状（数学、理科）、高等学校専修免許状（数学、理科、工業、情報）
武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	なし
中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻	高等学校専修免許状（情報）
神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻	中学校専修免許状（数学、理科）、高等学校専修免許状（数学、理科）
横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	なし
東海大学大学院 理学研究科 数理科学専攻	中学校専修免許状（数学）、高等学校専修免許状（数学）

競合校との比較分析の観点（博士後期課程）

大学院・研究科・専攻	教育内容と方法
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	体系的な教育課程/コース制度/専門フロンティアプログラムと複合フロンティアプログラム
武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	国際的な大学・研究機関等で最先端のデータサイエンス研究を先導する研究プロフェッショナル/産業界において国際的なイノベーションを実現するデータサイエンス経営・開発プロフェッショナル
中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻	データサイエンティストに求められる3つの力(ビジネス力・データサイエンス力・データエンジニアリング力)の習得と高度な応用/企業や研究機関との共同研究/社会人への対応/都心のキャンパスと優れた研究環境/積極的な留学生の受け入れ
神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻	グローバル化社会において自然科学の進展に寄与し得る人材の育成
横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	データアナリティクス力、データエンジニアリング力、社会展開力という3つのデータサイエンス力を鍛え、社会実装を可能とする高度な人材を育成

大学院・研究科・専攻	入試（受験時期、入学手続き時期との関係）
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	一般入試（試験12月6日、発表12月12日、支払期限2026年1月30日）
武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	I期入試（試験9月21日、発表9月26日、支払期限10月6日）
中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻	一般入学試験夏季（試験7月12日、発表7月18日、支払期限2026年1月15日）
神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻	一般入試（試験8月30～31日、発表9月5日、支払期限第一次9月17日、第二次2026年2月27日）
横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	一般入試（試験9月20日、発表10月3日、支払期限10月15日）

大学院・研究科・専攻	修学支援の内容（奨学制度など）
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	院生助手、若手研究者育成奨学金、アーリーイーグル研究支援制度（若手研究者支援制度）、AGU フューチャーイーグルプロジェクト、薦田先端学術奨学金
武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	武蔵野大学家計奨学金、武蔵野大学教育ローン利子補給奨学金、武蔵野大学開学記念経済支援奨学金、武蔵野大学災害給付奨学金、武蔵野大学沼田奨学金、武蔵野大学大学院研究支援奨学金、武蔵野大学大学院特別奨学金、武蔵野大学課外活動等奨学金
中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻	中央大学大学院給付奨学金、中央大学大学院指定試験奨学金
神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻	米田吉盛教育奨学金、激励奨学金、一般社団法人神奈川大学宮陵会大学院給付奨学金

横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	YCU給付型奨学金、長期履修学生授業料減免制度、緊急応急対応型授業料減免、災害見舞金
----------------------------------	--

大学院・研究科・専攻	就職支援の内容
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	オンライン企業研究会、企業説明会、Ash青山学院大学就職活動ハンドブックの発行、インターンシップ
武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	教育訓練給付制度対象
中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻	進路・就職ガイダンス
神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻	キャリア・就職ガイダンス、神大就活ステップアップ講座
横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	キャリアパス支援、インターンシップ支援

大学院・研究科・専攻	取得できる資格
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻	なし
武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	なし
中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻	なし
神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻	なし
横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻	なし

明治学院大学大学院

情報数理学研究科 情報数理学専攻

博士前期課程・博士後期課程(仮称)

設置構想についての入学意向アンケート調査

(1. 学部生 2. 社会人等) 報告書

1-1.学部生 入学意向アンケート調査 概要

調査目的	令和9年（2027年）度に明治学院大学大学院が設置構想中の「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程」（入学定員15人）における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 明治学院大学 情報数理学部に在学中の大学1年生および2年生（令和7年度）
調査内容	・回答者の基本情報（居住地、性別、学年） ・卒業後の志望進路 ・志望する大学院等の設置者 ・興味のある学問分野 ・明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」への受験・入学意向 ・明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」修了後、同大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」への進学に対する興味の有無
調査時期	令和7年11～12月
調査方法	大学のポータルサイトから情報数理学部の学生に対してアンケート調査サイトURLおよびアクセス用QRコードを配信した。原則その場で回答し送信するよう促した。
調査件数	有効回答数147件
備考	情報数理学部1年生および2年生は2027年度時点で卒業していないため入学資格はない。

1-2.学部生 入学意向アンケート調査 集計結果

※「回答割合」（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたの現在の居住地をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
北海道	0	0.0%
青森県	0	0.0%
岩手県	0	0.0%
宮城県	1	0.7%
秋田県	0	0.0%
山形県	0	0.0%
福島県	0	0.0%
茨城県	0	0.0%
栃木県	0	0.0%
群馬県	0	0.0%
埼玉県	4	2.7%
千葉県	5	3.4%
東京都	28	19.0%
神奈川県	109	74.1%
新潟県	0	0.0%
富山県	0	0.0%
石川県	0	0.0%
福井県	0	0.0%
山梨県	0	0.0%
長野県	0	0.0%
岐阜県	0	0.0%
静岡県	0	0.0%
愛知県	0	0.0%
三重県	0	0.0%

選択肢	回答数	回答割合
滋賀県	0	0.0%
京都府	0	0.0%
大阪府	0	0.0%
兵庫県	0	0.0%
奈良県	0	0.0%
和歌山県	0	0.0%
鳥取県	0	0.0%
島根県	0	0.0%
岡山県	0	0.0%
広島県	0	0.0%
山口県	0	0.0%
徳島県	0	0.0%
香川県	0	0.0%
愛媛県	0	0.0%
高知県	0	0.0%
福岡県	0	0.0%
佐賀県	0	0.0%
長崎県	0	0.0%
熊本県	0	0.0%
大分県	0	0.0%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	0	0.0%
沖縄県	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	147	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
男性	95	64.6%
女性	44	29.9%
回答しない	8	5.4%
無回答	0	0.0%
合計	147	100.0%

問3 あなたの学年をお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
学部1年生	97	66.0%
学部2年生	50	34.0%
無回答	0	0.0%
合計	147	100.0%

問4 明治学院大学 情報数理学部卒業後の進路について、どのように考えていますか。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
①大学院への進学	58	39.5%
②就職	86	58.5%
③その他	3	2.0%
無回答	0	0.0%
合計	147	100.0%

問5 問4で①を選択した方に質問です。（※問4で①を選択しなかった方は問6に進んでください） 志望する大学院の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

選択肢	回答数	回答割合
国立	47	81.0%
公立	30	51.7%
私立	46	79.3%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

※問5の回答割合は問4で「大学院への進学」を選択した58人（実人数）を全回答者数として算出。

問6 明治学院大学 情報数理学部卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるものすべて）※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
(理学) 数学	39	26.5%
(理学) 物理学	18	12.2%
(理学) その他(化学・地学など)	2	1.4%
(工学) 電気通信工学(情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む)	119	81.0%
(工学) その他(機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学)	13	8.8%
社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)	15	10.2%
農学(農学、農芸化学、農業工学、林学など)	0	0.0%
保健(医学、歯学、薬学、看護学など)	0	0.0%
商船(商船学)	3	2.0%
家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)	0	0.0%
教育(教育学、小・中・高校課程、保育、体育学など)	0	0.0%
芸術(美術、デザイン、音楽など)	0	0.0%
その他(教養学、国際学、人間科学など)	0	0.0%

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

問7 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」が開設された場合、受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
①第一志望として受験する	20	13.6%
②第二志望として受験する	34	23.1%
③第三志望以降として受験する	13	8.8%
④受験しない	80	54.4%
無回答	0	0.0%
合計	147	100.0%

問8 上記、問7で①～③を選択した方に質問です。明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
入学する	19	28.4%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	48	71.6%
入学しない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	67	100.0%

※問8の回答割合は問7で「①第一志望として受験する」「②第二志望として受験する」「③第三志望以降として受験する」のいずれかを選択した67人（実人数）を全回答者数として算出。

問9 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」修了後、同「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」への進学に興味がありますか。次より1つ選択してください。

選択肢	回答数	回答割合
興味ある	31	46.3%
興味ない	7	10.4%
わからない	29	43.3%
無回答	0	0.0%
合計	67	100.0%

※問9の回答割合は問7で「①第一志望として受験する」「②第二志望として受験する」「③第三志望以降として受験する」のいずれかを選択した67人（実人数）を全回答者数として算出。

1-3.学部生 入学意向アンケート調査 結果の要点

(1) 受験・入学意向クロス集計結果（「2. 学部生 入学意向アンケート調査 集計結果」より）

以下の図の通り、明治学院大学大学院が設置構想中の「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」に対し受験意向を持ち、「第一志望として受験する」「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択したのは67人で、予定する入学定員15人の4.5倍となった。
「第一志望として受験する」とした上で「入学する」を選択した対象者は16人おり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した対象者は合計44人確認された。

受験意向		入学意向	
第一志望として受験する	20	入学する	16
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	4
		入学しない・無回答	0
第二志望として受験する	34	入学する	3
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	31
		入学しない・無回答	0
第三志望以降として受験する	13	入学する	0
		志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	13
		入学しない・無回答	0

(2) 受験・入学意向五重クロス集計結果（「2.学部生 入学意向アンケート調査 集計結果」より）

以下の図の通り、卒業後の進路として「大学院進学」、志望する大学の設置者に「私立」を選択し、興味のある学問分野として「数学」、「物理学」、「電気通信工学」のいずれかを選択した上で、明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」に受験・入学意向を示した人数を確認した。

「大学院進学」、かつ「私立」を選択し、興味のある学問分野として「数学」、「物理学」、「電気通信工学」のいずれかを選択した対象者は42人で、その上で同研究科専攻を「第一志望として受験する」としたのは13人、「第二志望として受験する」としたのは21人、「第三志望以降として受験する」としたのは4人で合計すると38人であった。

なお「第一志望として受験する」とした上で「入学する」としたのは10人であった。「第二志望として受験する」または「第三志望以降として受験する」とした上で「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」としたのは合計で24人確認された。

進路		設置者		学問分野		受験意向		入学意向	
大学院進学	58	私立	46	数学、物理学、電気通信工学	42	第一志望として受験する	13	入学する	10
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	3
								入学しない・無回答	0
						第二志望として受験する	21	入学する	1
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	20
								入学しない・無回答	0
						第三志望以降として受験する	4	入学する	0
								志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	4
								入学しない・無回答	0

2-1.社会人等 入学意向アンケート調査 概要

調査目的	令和9年（2027年）度に明治学院大学大学院が設置構想中の「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」（入学定員15人）、「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」（入学定員2人）における志願者・入学者等の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・静岡県に在住の者（学生募集の主たるエリアであるため）
調査内容	【主設問14問（回答数は回答パターンにより異なる）】 ・リカレント教育、リスキリング教育、または大学院進学に関する関心の有無 ・回答者の基本情報（年代、性別、現況、最終学歴） ・学びたいと考えている興味のある学問分野 ・明治学院大学大学院が設置構想中の研究科が開設された場合の受験意向、入学意向、入学年度など
調査時期	令和7年12月
調査方法	株式会社高等教育総合研究所がアンケート企画・設計を行い、協力先ネット・リサーチ会社（株式会社クロス・マーケティング）の登録モニターを対象に、インターネットでアンケートの回答を依頼した。
回答件数	有効回答数2,201件

2-2.社会人等 入学意向アンケート調査 集計結果

回答対象者（2,201人）
事前のスクリーニング設問で、以下の条件を全て満たした者が対象者である。 ・居住地で東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・静岡県を選択。 ・最終学歴で大学（在学中）、大学（学部）、大学院（在学中）、大学院（修士）、大学院（博士）を選択。 ・リカレント教育やリスキリング教育または大学院での学びに「興味がある」を選択。

Q1 あなたの年代についてお答えください。（択一）

選択項目	回答数	回答割合 (%)
1 10代以下	15	0.7
2 20代	306	13.9
3 30代	676	30.7
4 40代	675	30.7
5 50代	267	12.1
6 60代以上	262	11.9
合計	2,201	100.0

Q2 あなたの性別をお答えください。（択一）

選択項目	回答数	回答割合 (%)
1 男性	1583	71.9
2 女性	608	27.6
3 回答しない	10	0.5
合計	2,201	100.0

Q3 あなたの現況についてお答えください。（択一）

選択項目	回答数	回答割合 (%)
1 在学中（大学）	126	5.7
2 在学中（大学院）	66	3.0
3 在職中（公務員）	133	6.0
4 在職中（自営業）	122	5.5
5 在職中（公務員、自営業を除く企業・機関・団体等）	1486	67.5
6 主婦・主夫	116	5.3
7 無職	112	5.1
8 その他(具体的に記入してください)	40	1.8
合計	2,201	100.0

Q4 あなたの学年をお答えください。（択一）

選択項目		回答数	回答割合 (%)
1	1年生	13	10.3
2	2年生	20	15.9
3	3年生	31	24.6
4	4年生	62	49.2
合計		126	100.0

※Q3で「在学中（大学）」を選択した者のみ回答。

※Q4の回答割合はQ3で「在学中（大学）」を選択した126人（実数）を全回答者として算出。

Q5 あなたの最終学歴をお答えください。（見込みも含む）（択一）

選択項目		回答数	回答割合 (%)
1	大学	1,677	77.4
2	大学院（修士）	401	18.5
3	大学院（博士）	90	4.2
合計		2,168	100.0

※Q5の回答割合は、Q3で「在学中（大学）」かつQ4で「3年生」または「4年生」を選択、またはQ3で「在学中（大学院）」「在職中（公務員・自営業・企業等）」「主婦・主夫」「無職」「その他」を選択した2,168人（実数）を全回答者として算出。

Q6 あなたが大学・大学院で学ばれた（学ばれている）学問分野をお答えください。（択一）

	選択項目	回答数	回答割合 (%)
1	(理学) 数学	97	4.5
2	(理学) 物理学	86	4.0
3	(理学) その他(化学・地学など)	103	4.8
4	(工学) 電気通信工学(情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む)	230	10.6
5	(工学) その他(機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学)	199	9.2
6	人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)	282	13.0
7	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)	731	33.7
8	農学(農学、農芸化学、農業工学、林学など)	52	2.4
9	保健(医学、歯学、薬学、看護学など)	71	3.3
10	商船(商船学)	6	0.3
11	家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)	15	0.7
12	教育(教育学、小・中・高校課程、保育、体育学など)	91	4.2
13	芸術(美術、デザイン、音楽など)	57	2.6
14	その他(教養学、国際学、人間科学など)	110	5.1
15	その他(具体的に記入してください)	38	1.8
	合計	2,168	100.0

※Q6の回答割合は、Q3で「在学中(大学)」かつQ4で「3年生」または「4年生」を選択、またはQ3で「在学中(大学院)」「在職中(公務員・自営業・企業等)」「主婦・主夫」「無職」「その他」を選択した2,168人(実数)を全回答者として算出。

Q7 リカレント教育、リスキリング教育又は大学院での学びにおいて、興味がある学問分野を次の中から選択してください。（あてはまるものすべて）

選択項目		回答数	回答割合 (%)
1	(理学) 数学	257	11.9
2	(理学) 物理学	247	11.4
3	(理学) その他(化学・地学など)	216	10.0
4	(工学) 電気通信工学(情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む)	557	25.7
5	(工学) その他(機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学)	276	12.7
6	人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)	572	26.4
7	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)	784	36.2
8	農学(農学、農芸化学、農業工学、林学など)	198	9.1
9	保健(医学、歯学、薬学、看護学など)	214	9.9
10	商船(商船学)	78	3.6
11	家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)	148	6.8
12	教育(教育学、小・中・高校課程、保育、体育学など)	240	11.1
13	芸術(美術、デザイン、音楽など)	291	13.4
14	その他(教養学、国際学、人間科学など)	357	16.5
15	その他(具体的に記入してください)	31	1.4

※Q7の回答割合は、Q3で「在学中(大学)」かつQ4で「3年生」または「4年生」を選択、またはQ3で「在学中(大学院)」「在職中(公務員・自営業・企業等)」「主婦・主夫」「無職」「その他」を選択した2,168人(実数)を全回答者として算出。

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

Q8 あなたが大学院進学を希望される場合、志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

選択項目		回答数	回答割合 (%)
1	国立	1,505	69.4
2	公立	1,033	47.6
3	私立	1,100	50.7

※Q8の回答割合は、Q3で「在学中(大学)」かつQ4で「3年生」または「4年生」を選択、またはQ3で「在学中(大学院)」「在職中(公務員・自営業・企業等)」「主婦・主夫」「無職」「その他」を選択した2,168人(実数)を全回答者として算出。

※複数回答設問のため回答数はのべ数。回答割合＝各回答数÷全回答者数で算出。

Q9 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」への受験を希望しますか。(択一)

選択項目	回答数	回答割合(%)
1 第一志望として受験する	257	15.3
2 第二志望として受験する	232	13.8
3 第三志望以降として受験する	175	10.4
4 受験しない	1,013	60.4
合計	1,677	100.0

※Q9の回答割合はQ5で「大学」を選択した1,677人（実数）を全回答者として算出。

Q10 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。(択一)

選択項目	回答数	回答割合(%)
1 入学する	276	41.6
2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	355	53.5
3 入学しない	33	5.0
合計	664	100.0

※Q10の回答割合はQ9で「1第一志望として受験する」「2第二志望として受験する」「3第三志望以降として受験する」のいずれかを選択した664人（実人数）を全回答者として算出。

Q11 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」へ入学を希望される時期についてお答えください。以下の中から1つ選んでください。(択一)

選択項目	回答数	回答割合(%)
1 2027年度(開設年度)	279	44.2
2 2028年度以降	352	55.8
合計	631	100.0

※Q11の回答割合はQ10で「1入学する」「2志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」のいずれかを選択した631人（実人数）を全回答者として算出。

Q12 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」への受験を希望しますか。(択一)

選択項目	回答数	回答割合(%)
1 第一志望として受験する	98	20.0
2 第二志望として受験する	86	17.5
3 第三志望以降として受験する	58	11.8
4 受験しない	249	50.7
合計	491	100.0

※Q12の回答割合はQ5で「大学院（修士）」「大学院（博士）」を選択した491人（実数）を全回答者として算出。

Q13 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。(択一)

選択項目		回答数	回答割合 (%)
1	入学する	114	47.1
2	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	120	49.6
3	入学しない	8	3.3
合計		242	100.0

※Q13の回答割合はQ12で「1第一志望として受験する」「2第二志望として受験する」「3第三志望以降として受験する」のいずれかを選択した242人（実人数）を全回答者として算出。

Q14 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」へ入学を希望される時期についてお答えください。以下の中から1つ選んでください。(択一)

選択項目		回答数	回答割合 (%)
1	2027年度(開設年度)	129	55.1
2	2028年度以降	105	44.9
合計		234	100.0

※Q14の回答割合はQ13で「1入学する」「2志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」のいずれかを選択した234人（実人数）を全回答者として算出。

2-3.社会人等 入学意向アンケート調査 結果の要点

■情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程（仮称）

受験・入学意向 五重クロス集計結果（「5. 社会人等 入学意向アンケート調査 集計結果」より）

以下の図の通り、クロス集計を踏まえた上で、明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程（仮称）」に「第一志望として受験する」を選択し、合格した場合「入学する」を選択したのは59人であった。そのうち2027年度(開設年度)に入学を希望するのは44人、2028年度以降の希望者は15人であった。

<クロス集計の前提（以下すべての条件を満たす回答者1,896人のみの結果）>

- ・「20代」「30代」「40代」「50代」のいずれか
- ・リカレント教育やリスキリング教育、大学院での学びに興味がある
- ・現況が大学在学中の3年生または4年生、大学院在学中、在職中、主婦・主夫、無職、その他

興味がある学問分野	設置者	受験意向	入学意向	入学年度
(理学) 数学、 (理学) 物理学、 (工学) 電気通信 工学（情 報学、情 報科学、 電子情報 学、デー タサイエ ンスを含 む）	707 私立	第一志望 として受 験する	67	入学する 59 2027年度 44 2028年度 以降 15
			7	志望順位が 上位の他の 志望校が不 合格の場合 に入学する 2027年度 3 2028年度 以降 4
			1	入学しない
		第二志望 として受 験する	51	入学する 9 2027年度 5 2028年度 以降 4
			39	志望順位が 上位の他の 志望校が不 合格の場合 に入学する 2027年度 13 2028年度 以降 26
			3	入学しない
		第三志望 以降とし て受験す る	32	入学する 2 2027年度 2 2028年度 以降 0
			29	志望順位が 上位の他の 志望校が不 合格の場合 に入学する 2027年度 4 2028年度 以降 25
			1	入学しない
		受験しない	88	

受験・入学意向 五重クロス集計結果内訳

以下は「クロス集計結果」において、明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程（仮称）」を第一志望とし、かつ合格した場合には開設初年度（2027年度）に入学する意思を明確に示した44名に関する分析である。 当該44人は2人が在学中、39人が在職者、3人が無職であり、年代別構成は40代（18人）、30代（17人）、20代（4人）、50代（5人）となっている。最終学歴については、大学（学士）が44人であり、全員が大学院修士課程へ進学可能な学歴を有する。 出身分野については、理学分野が15人で最も多く、そのうち「数学」が9人、「物理学」が4人である。ほかに「社会科学」が13人、「工学」が12人、「人文科学」5人など、理工系が全体の半分以上をしめつつ幅広い分野出身者が確認できる。隣接する異分野の出身者からも志望されている。 以上、多様な専門分野を有する社会人が本課程へ進学する意向を示している。

番号	年代	性別	現況	最終学歴	学んだ分野
1	30代	男性	在職中※	大学	(理学) 数学
2	40代	男性	在職中※	大学	人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)
3	30代	男性	在職中※	大学	(理学) 数学
4	30代	男性	在職中※	大学	(理学) 数学
5	30代	女性	在職中※	大学	人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)
6	30代	男性	在職中※	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
7	40代	男性	在職中※	大学	人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)
8	30代	男性	在職中※	大学	(工学) その他(機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学)
9	40代	男性	在職中※	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
10	30代	女性	在職中※	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
11	40代	男性	在職中※	大学	(工学) 電気通信工学(情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む)
12	50代	男性	在職中※	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
13	40代	男性	在職中※	大学	(理学) 数学
14	40代	男性	在職中※	大学	(理学) その他(化学・地学など)
15	20代	男性	在職中※	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
16	30代	女性	在職中※	大学	(工学) 電気通信工学(情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む)
17	30代	女性	在職中※	大学	人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)
18	40代	女性	在職中※	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
19	40代	男性	在職中※	大学	(工学) その他(機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学)
20	40代	男性	在職中※	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
21	40代	男性	在職中※	大学	(工学) 電気通信工学(情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む)
22	40代	男性	在職中※	大学	(理学) 物理学
23	40代	男性	在職中※	大学	(理学) 物理学
24	30代	男性	無職	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
25	40代	男性	在職中(自営業)	大学	(理学) 数学
26	40代	男性	在職中※	大学	(工学) その他(機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学)
27	50代	男性	在職中※	大学	(理学) 数学
28	30代	男性	在職中※	大学	(理学) 数学
29	20代	男性	在職中※	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
30	40代	男性	在職中※	大学	(理学) 物理学
31	30代	女性	在学中(大学)	大学	(工学) その他(機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学)
32	30代	男性	在職中※	大学	(工学) その他(機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学)
33	50代	男性	在職中※	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)

34	40代	女性	在職中※	大学	(工学)電気通信工学(情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む)
35	40代	男性	在職中※	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
36	40代	男性	在職中※	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
37	30代	女性	在職中※	大学	(工学)電気通信工学(情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む)
38	50代	男性	在職中※	大学	(理学)数学
39	30代	男性	在職中※	大学	(理学)数学
40	20代	男性	在職中※	大学	(理学)物理学
41	30代	男性	無職	大学	(理学)その他(化学・地学など)
42	20代	男性	無職	大学	社会科学(法学、商学・経済学、社会学など)
43	30代	男性	在職中※	大学	(工学)電気通信工学(情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む)
44	50代	男性	在学中(大学院)	大学	(工学)電気通信工学(情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む)

※現状の「在職中※」は全員「公務員、自営業を除く企業・機関・団体等」。

■情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程（仮称）

受験・入学意向 五重クロス集計結果（「5. 社会人等 入学意向アンケート調査 集計結果」より）

以下の図の通り、クロス集計を踏まえた上で、明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程（仮称）」に「第一志望として受験する」を選択し、合格した場合「入学する」を選択したのは27人であった。そのうち2027年度(開設年度)に入学を希望するのは20人、2028年度以降の希望者は7人であった。

＜クロス集計の前提（以下すべての条件を満たす回答者422人のみの結果）＞

- ・「20代」「30代」「40代」「50代」のいずれか
- ・リカレント教育やリスクリテラシー教育、大学院での学びに興味がある
- ・現況が大学院在学中、在職中、主婦・主夫、無職、その他
- ・最終学歴が大学院（修士）か大学院（博士）のいずれか

興味がある学問分野		設置者		受験意向		入学意向		入学年度	
(理学) 数学、 (理学) 物理学、 (工学) 電気通信 工学(情 報学、情 報科学、 電子情報 学、デー タサイエ ンスを含 む)	207	私立	77	第一志望 として受 験する	29	入学する	27	2027年度	20
								2028年度以 降	7
						志望順位が 上位の他の 志望校が不 合格の場合 に入学する	2	2027年度	2
						入学しない	0	2028年度以 降	0
				第二志望 として受 験する	13	入学する	1	2027年度	1
								2028年度以 降	0
						志望順位が 上位の他の 志望校が不 合格の場合 に入学する	11	2027年度	5
						入学しない	1	2028年度以 降	6
				第三志望 以降とし て受験す る	11	入学する	1	2027年度	0
								2028年度以 降	1
						志望順位が 上位の他の 志望校が不 合格の場合 に入学する	10	2027年度	2
						入学しない	0	2028年度以 降	8
				受験しない	24				

受験・入学意向 五重クロス集計結果内訳

以下は「クロス集計結果」において、明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程（仮称）」を第一志望とし、かつ合格した場合には開設初年度（2027年度）に入学する意思を明確に示した20名に関する分析である。

当該20人は20人全員が在職者、年代別構成は40代（6人）、30代（10人）、20代（2人）、50代（2人）となっている。最終学歴については、大学院（修士）が17名、大学院（博士）が3人であり、全員が大学院修士課程へ進学可能な学歴を有する。

出身分野については、工学分野が9人で最も多く、うち「電気通信工学」が7人である。ほかに「社会科学」が5人、「理学」が4人など、理工系が全体の半分以上をしめつつ幅広い分野出身者が確認できる。隣接する異分野の出身者からも志望されている。

以上、多様な専門分野を有する社会人が本課程へ進学する意向を示している。

番号	年代	性別	現況	最終学歴	学んだ分野
1	50代	男性	在職中※	大学院（修士）	（理学）物理学
2	30代	男性	在職中※	大学院（修士）	社会科学（法学、商学・経済学、社会学など）
3	30代	女性	在職中※	大学院（修士）	人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)
4	40代	男性	在職中※	大学院（修士）	社会科学（法学、商学・経済学、社会学など）
5	40代	男性	在職中※	大学院（修士）	（工学）電気通信工学（情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む）
6	40代	男性	在職中※	大学院（修士）	（工学）その他（機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学）
7	30代	男性	在職中※	大学院（修士）	（工学）電気通信工学（情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む）
8	30代	男性	在職中※	大学院（修士）	（工学）電気通信工学（情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む）
9	30代	男性	在職中※	大学院（修士）	（工学）電気通信工学（情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む）
10	40代	男性	在職中※	大学院（修士）	（工学）電気通信工学（情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む）
11	30代	男性	在職中※	大学院（修士）	（理学）その他（化学・地学など）
12	40代	男性	在職中※	大学院（修士）	（工学）電気通信工学（情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む）
13	20代	女性	在職中※	大学院（修士）	芸術(美術、デザイン、音楽など)
14	40代	男性	在職中※	大学院（修士）	社会科学（法学、商学・経済学、社会学など）
15	50代	男性	在職中※	大学院（修士）	（工学）その他（機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学）
16	20代	男性	在職中（公務員）	大学院（修士）	（工学）電気通信工学（情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む）
17	30代	男性	在職中（公務員）	大学院（博士）	（理学）数学
18	30代	男性	在職中（公務員）	大学院（修士）	（理学）数学
19	30代	男性	在職中※	大学院（修士）	社会科学（法学、商学・経済学、社会学など）
20	30代	男性	在職中※	大学院（修士）	社会科学（法学、商学・経済学、社会学など）

※現状の「在職中※」は全員「公務員、自営業を除く企業・機関・団体等」。

学部生 入学意向アンケートWEB画面

明治学院大学大学院

「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程・博士後期課程(仮称)」 設置構想についてのアンケート調査

(対象：明治学院大学情報数理学部学生の皆さん)

本学では、令和9(2027)年4月、「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程・博士後期課程(仮称)」の設置を構想しております。同大学院研究科についての概要資料をご覧の上、進学意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。また、本構想は予定であり、今後変更となる可能性があります。

※本アンケート調査は明治学院大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケート調査および概要資料に記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

アンケート調査開始時のお願い **必須**

※本アンケート調査への回答は1回のみとなります。本アンケート調査と同一内容の明治学院大学が実施したアンケートに過去に回答した方は回答できません。

☐ 同意して回答する

問1 あなたの現在の居住地をお答えください。(あてはまるもの1つ) **必須**

選択してください

問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つ) **必須**

☐ 男性

☐ 女性

☐ 回答しない

問3 あなたの学年をお答えください。(あてはまるもの1つ) **必須**

☐ 学部1年生

☐ 学部2年生

問4 明治学院大学情報数理学部卒業後の進路について、どのように考えていますか。(あてはまるもの1つ) **必須**

☒ 大学院への進学

☐ 就職

☐ その他

問5 問4で①を選択した方に質問です。(※問4で①を選択しなかった方は問6に進んでください) 志望する大学院の設置者の希望を選択してください。(あてはまるものすべて) **必須**

☐ 国立

☐ 公立

☐ 私立

問6 明治学院大学情報数理学部卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。(あてはまるものすべて) ※現時点で進学を希望されていない方も進学する場合を想像してお答えください。

必須

☐ (理学) 数学

☐ (理学) 物理学

☐ (理学) その他(化学・地学など)

☐ (工学) 電気通信工学(情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスを含む)

☐ (工学) その他(機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学)

☐ 人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)

☐ 社会科学（法学、商学・経済学、社会学など）

☐ 農学(農学、農芸化学、農業工学、林学など)

☐ 保健(医学、歯学、薬学、看護学など)

☐ 商船（商船学）

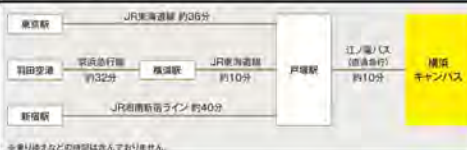
☐ 家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)

☐ 教育(教育学、小・中・高校課程、保育、体育学など)

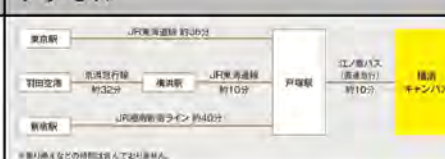
☐ 芸術(美術、デザイン、音楽など)

☐ その他(教養学、国際学、人間科学など)

ここからは以下・明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻
博士前期課程・博士後期課程(仮称)」に関する概要資料を見てからお答えく
ださい

明治学院大学大学院 情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程（仮称）				設置 構想中
概要				
開設時期	修業年限	入学定員	学位名称	キャンパス
2027(令和9)年4月	2年	15名	修士(情報数理学)	横浜
設置の理念				
情報数理学研究科は、“Do for Others(他者への貢献)”の精神に基づき、「情報科学技術で人と社会に貢献する」という教育理念のもと、情報数理学を基盤として社会のさまざまな場面で活躍できる高度な能力を持つ人材を養成する。				
養成する人材像				
1. 情報数理学の素養を用いて人と社会に貢献する情報科学技術を開発する応用力・問題解決能力を有する高度専門職業人 2. 情報科学の技術革新に対し、情報数理学の技術や知識を用い、明治学院大学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”に基づく倫理感をもって貢献できる人材				
専攻の特色				
・ 数理を軸とした最先端の情報科学教育を通じて、社会的需要に応える人材を養成 ・ コースワーク科目の多くは、対面とオンラインを併用するハイフレックス型授業形態で開講されるため、キャンパス外からの受講が可能 ・ メンター制度を導入し、ハラスメントの未然防止を含む、学生の教育研究環境の充実を図る支援体制を整備				
アドミッションポリシー				
1. 情報数理学の高度な研究に取り組む前提として、学士課程で修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。 2. 本学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”の意義を理解し、数理科学および情報技術の人と社会への還元に関する興味・関心を持ち、高度専門職業人として社会に貢献する強い意欲を持っている。 3. 情報技術が社会や人に与える影響を深く考え、倫理的な視点から物事を判断できる能力を有している。				
身につける能力				
AI（人工知能）、量子情報、情報システム・セキュリティといった次世代の情報処理パラダイムを支える数学的原理を理解し、その情報処理を活用・改良できる技量と知識				
想定する修了後の進路			学納金	
・ 情報処理・情報通信産業の民間企業等の技術職、管理職 ・ データ分析を専門とする官公庁、民間企業等の技術職、管理職 など			初年度合計：876,000円 （入学金：150,000円、授業料他：726,000円） 修業年限合計：876,000円＋726,000円＝1,602,000円	
競合する大学院			アクセス	
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻 中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻 神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻 東海大学大学院 理学研究科 数理科学専攻 横浜国立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻				
研究科の教育研究拠点となる校舎（明治学院大学横浜キャンパス）				
 11号館 外観（2025年完成）  11号館 学生ラウンジ  11号館 大学院生室（合計2室）				

※上記は構想中の概要であり、変更となる可能性があります。

明治学院大学大学院 情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程（仮称） 設置 構想中				
概要				
開設時期	修業年限	入学定員	学位名称	キャンパス
2027(令和9)年4月	3年	2名	博士(情報数理学)	横浜
設置の理念				
情報数理学研究科は、“Do for Others(他者への貢献)”の精神に基づき、「情報科学技術で人と社会に貢献する」という教育理念のもと、情報数理学を基盤として社会のさまざまな場面で活躍できる高度な能力を持つ人材を養成する。				
養成する人材像				
1. 情報数理学の素養を駆使して基礎研究、実践研究、および両者を統合した研究を独立して遂行し学術の深耕を行うことのできる、企業における研究開発人材および大学等の教員・研究者				
2. 情報科学の技術革新に対し、情報数理学の技術や知識を用い、明治学院大学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”に基づく倫理感をもって体现できる人材				
専攻の特色				
・ 数理を軸とした最先端の情報科学教育を通じて、社会的需要に応える人材を養成				
・ コースワーク科目は、対面とオンラインを併用するハイフレックス型授業形態で開講されるため、キャンパス外からの受講が可能				
・ メンター制度を導入し、ハラスメントの未然防止を含む、学生の教育研究環境の充実を図る支援体制を整備				
アドミッションポリシー				
1. 情報数理学の高度な研究に取り組む前提として、博士前期課程または修士課程で修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。				
2. 本学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”の意義を理解し、数理科学および情報技術の人と社会への還元に対する深い関心と強い課題探究心を持ち、教育者または研究者として社会に貢献する強い意欲を持っている。				
3. 情報技術の教育者または研究者を目指す者として、高い倫理観と社会規範を身につけている。				
身につける能力				
AI（人工知能）、量子情報、情報システム・セキュリティといった次世代の情報処理パラダイムを支える数学的原理を数理の視点で分解し適切に変容して推し進め、新たな情報処理を設計する技量と知識				
想定する修了後の進路		学納金		
・ 情報処理・情報通信産業の民間企業等における研究開発職		初年度合計：876,000円		
・ データ分析手法の開発を専門とする官公庁、民間企業等の研究開発職		（入学金：150,000円、授業料他：726,000円）		
・ 大学等の情報系学部の教員・研究者		修業年限合計：876,000円＋1,452,000円＝2,328,000円		
競合する大学院		アクセス		
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻				
武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻				
中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻				
神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻				
東海大学大学院 理学研究科 数理学専攻				
横浜国立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻				
研究科の教育研究拠点となる校舎（明治学院大学横浜キャンパス）				
  				
11号館 外観（2025年完成）11号館 学生ラウンジ11号館 大学院生室（合計2室）				

※上記は構想中の概要であり、変更となる可能性があります。

問7 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」が開設された場合、受験を希望しますか。次より1つ選択してください。

必須

☒ 第一志望として受験する

☐ 第二志望として受験する

☐ 第三志望以降として受験する

☐ 受験しない

問8 上記、問7で①～③を選択した方に質問です。明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より1つ選択してください。 **必須**

☒ 入学する

☐ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

☐ 入学しない

問9 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」修了後、同「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」への進学に興味がありますか。次より1つ選択してください。 **必須**

☒ 興味ある

☐ 興味ない

☐ わからない

送信

社会人等 入学意向アンケート調査WEB画面
(スクリーニング)

社会人の学びについての アンケート

アンケートにご協力をお願い致します。

回答する

回答者の皆様へ

◆アンケート内で知り得た情報について

当アンケートには機密情報が含まれます。当アンケートの内容や知り得た情報は第三者に口外・転載・漏洩することないようにお願いいたします。

◆アンケートによっては機微情報をお伺いする設問が含まれる場合があります。

回答内容は、個人が特定されない形で統計的に処理されたデータとして扱われますが、回答したくない場合は途中で回答をやめていただいて問題ありません。

回答をやめる場合はブラウザの閉じるボタンを押して終了してください。

◆推奨環境について

アンケートにお答え頂くには下記の環境が必要です。

- ・JavaScriptを有効にしてください。
- ・Cookieを有効(受け入れる)にしてください。

●WindowsPC

GoogleChrome(最新版)/Mozilla Firefox(最新版)

●MAC

Safari(最新版)

●スマートフォン/タブレット

iOS/AndroidOSの標準ブラウザ

※フィーチャーフォン(ガラケー)では回答できません。

※すべての機種での動作を保証するものではありません。

設問タイプ

☒ 単一選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ プルダウン形式

途中終了条件

設問 Q1.あなたのお住まいをお答えください。(あてはまるもの1つ)

回答 以外

- | | | | | |
|---|---|---|--|------------------------------|
| ☐ 北海道 | ☐ 青森県 | ☐ 岩手県 | ☐ 宮城県 | ☐ 秋田県 |
| ☐ 山形県 | ☐ 福島県 | ☐ 茨城県 | ☐ 栃木県 | ☐ 群馬県 |
| ☒ 埼玉県 | ☒ 千葉県 | ☒ 東京都 | ☒ 神奈川県 | |
| ☐ 新潟県 | ☐ 富山県 | ☐ 石川県 | ☐ 福井県 | ☐ 山梨県 |
| ☐ 長野県 | ☐ 岐阜県 | ☒ 静岡県 | ☐ 愛知県 | ☐ 三重県 |
| ☐ 滋賀県 | ☐ 京都府 | ☐ 大阪府 | ☐ 兵庫県 | ☐ 奈良県 |
| ☐ 和歌山県 | ☐ 鳥取県 | ☐ 島根県 | ☐ 岡山県 | |
| ☐ 広島県 | ☐ 山口県 | ☐ 徳島県 | ☐ 香川県 | ☐ 愛媛県 |
| ☐ 高知県 | ☐ 福岡県 | ☐ 佐賀県 | ☐ 長崎県 | ☐ 熊本県 |
| ☐ 大分県 | ☐ 宮崎県 | ☐ 鹿児島県 | ☐ 沖縄県 | |

Q1. あなたのお住まいをお答えください。(あてはまるもの1つ) 必須

☐ 北海道

☐ 青森県

☐ 岩手県

☐ 宮城県

☐ 秋田県

☐ 山形県

☐ 福島県

☐ 茨城県

☐ 栃木県

☐ 群馬県

☐ 埼玉県

☐ 千葉県

☐ 東京都

☐ 神奈川県

☐ 新潟県

☐ 富山県

☐ 石川県

☐ 福井県

☐ 山梨県

☐ 長野県

☐ 岐阜県

☐ 静岡県

☐ 愛知県

☐ 三重県

☐ 滋賀県

☐ 京都府

☐ 大阪府

☐ 兵庫県

☐ 奈良県

☐ 和歌山県

☐ 鳥取県

☐ 島根県

☐ 岡山県

☐ 広島県

☐ 山口県

☐ 徳島県

☐ 香川県

☐ 愛媛県

☐ 高知県

☐ 福岡県

☐ 佐賀県

☐ 長崎県

☐ 熊本県

☐ 大分県

☐ 宮崎県

☐ 鹿児島県

☐ 沖縄県

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 単一選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

Q2. あなたの最終学歴をお答えください。(あてはまるもの1つ) **必須**

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ プルダウン形式

途中終了条件

設問 Q2.あなたの最終学歴をお答えください。(あてはまるもの1つ)

回答 以外

☒ 大学（在学中） ☒ 大学（学部） ☒ 大学院（在学中）

☒ 大学院（修士） ☒ 大学院（博士） ☐ 短期大学

☐ 専門学校 ☐ 高等学校 ☐ その他（高校在学中も含む）

☐ 大学（在学中）

☐ 大学（学部）

☐ 大学院（在学中）

☐ 大学院（修士）

☐ 大学院（博士）

☐ 短期大学

☐ 専門学校

☐ 高等学校

☐ その他（高校在学中も含む）

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 単一選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

Q3. あなたはリカレント教育やリスクリング教育又は大学院での学びに興

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ プルダウン形式

味がありますか。（あてはまるもの1つ） 必須

☐ 興味がある

☐ 興味がない

☐ わからない

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

抽出条件

設問 Q1.あなたのお住まいをお答えください。（あてはまるもの1つ）

回答 いずれか

- | | | | | |
|---|---|---|--|------------------------------|
| ☐ 北海道 | ☐ 青森県 | ☐ 岩手県 | ☐ 宮城県 | ☐ 秋田県 |
| ☐ 山形県 | ☐ 福島県 | ☐ 茨城県 | ☐ 栃木県 | ☐ 群馬県 |
| ☒ 埼玉県 | ☒ 千葉県 | ☒ 東京都 | ☒ 神奈川県 | |
| ☐ 新潟県 | ☐ 富山県 | ☐ 石川県 | ☐ 福井県 | ☐ 山梨県 |
| ☐ 長野県 | ☐ 岐阜県 | ☒ 静岡県 | ☐ 愛知県 | ☐ 三重県 |
| ☐ 滋賀県 | ☐ 京都府 | ☐ 大阪府 | ☐ 兵庫県 | ☐ 奈良県 |
| ☐ 和歌山県 | ☐ 鳥取県 | ☐ 島根県 | ☐ 岡山県 | |

ありがとうございました

- ☐ 広島県 ☐ 山口県 ☐ 徳島県 ☐ 香川県 ☐ 愛媛県
☐ 高知県 ☐ 福岡県 ☐ 佐賀県 ☐ 長崎県 ☐ 熊本県
☐ 大分県 ☐ 宮崎県 ☐ 鹿児島県 ☐ 沖縄県

AND

設問 Q2.あなたの最終学歴をお答えください。(あてはまるもの1つ)

回答 いずれか

- ☒ 大学（在学中） ☒ 大学（学部） ☒ 大学院（在学中）
☒ 大学院（修士） ☒ 大学院（博士） ☐ 短期大学
☐ 専門学校 ☐ 高等学校 ☐ その他（高校在学中も含む）

AND

設問 Q3.あなたはリカレント教育やリスクリング教育又は大学院での
学びに興味がありますか。(あてはまるもの1つ)

回答 いずれか

- ☒ 興味がある ☐ 興味がない ☐ わからない

社会人等 入学意向アンケート調査WEB画面

(本調査)

大学院での学びについてのアンケート

アンケートにご協力をお願い致します。

回答する

回答者の皆様へ

◆アンケート内で知り得た情報について

当アンケートには機密情報が含まれます。当アンケートの内容や知り得た情報は第三者に口外・転載・漏洩することないようにお願いいたします。

◆アンケートによっては機微情報をお伺いする設問が含まれる場合があります。

回答内容は、個人が特定されない形で統計的に処理されたデータとして扱われますが、回答したくない場合は途中で回答をやめていただいて問題ありません。

回答をやめる場合はブラウザの閉じるボタンを押して終了してください。

◆推奨環境について

アンケートにお答え頂くには下記的环境が必要です。

- ・JavaScriptを有効にしてください。
- ・Cookieを有効(受け入れる)にしてください。

●WindowsPC

GoogleChrome(最新版)/Mozilla Firefox(最新版)

●MAC

Safari(最新版)

●スマートフォン/タブレット

iOS/AndroidOSの標準ブラウザ

※フィーチャーフォン(ガラケー)では回答できません。

※すべての機種での動作を保証するものではありません。

設問タイプ

☒ 単一選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ プルダウン形式

Q1. あなたの年代についてお答えください。 必須

☐ 10代以下

☐ 20代

☐ 30代

☐ 40代

☐ 50代

☐ 60代以上

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 単一選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ ブルダウン形式

Q2. あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つ） 必須

☐ 男性

☐ 女性

☐ 回答しない

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 単一選択

Q3. あなたの現況についてお答えください。（あてはまるもの1つ） 必須

入力制限 ☒ 制限なし ☐ 数字 ☐ 英数字 ☐ メール ☐ 日付

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ プルダウン形式

☐ 在学中（大学）

☐ 在学中（大学院）

☐ 在職中（公務員）

☐ 在職中（自営業）

☐ 在職中（公務員、自営業を除く企業・機関・団体等）

☐ 主婦・主夫

☐ 無職

☐ その他(具体的に入力してください)

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 単一選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ プルダウン形式

設問表示条件

Q4. あなたの学年をお答えください。（あてはまるものを1つ） 必須

☐ 1年生

☐ 2年生

☐ 3年生

☐ 4年生

これらの選択肢から1つ選択してください

設問 Q3.あなたの現況についてお答えください。(あてはまるもの1つ)

回答 いずれか

- ☒ 在学中（大学） ☐ 在学中（大学院）
☐ 在職中（公務員） ☐ 在職中（自営業）
☐ 在職中（公務員、自営業を除く企業・機関・団体等）
☐ 主婦・主夫 ☐ 無職
☐ その他(具体的に入力してください)

途中終了条件

設問 Q4.あなたの学年をお答えください。(あてはまるものを1つ)

回答 いずれか

- ☒ 1年生 ☒ 2年生 ☐ 3年生 ☐ 4年生

設問タイプ

☒ 単一選択

- ☐ 選択肢を引き継ぐ
☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示
☒ 回答必須 ☐ プルダウン形式

つぎへ

Q5. あなたの最終学歴をお答えください。
(見込みも含む) 必須

- ☐ 大学
☐ 大学院（修士）
☐ 大学院（博士）

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 単一選択

入力制限 ☒ 制限なし ☐ 数字 ☐ 英数字 ☐ メール ☐ 日付

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須 ☐ プルダウン形式

Q6. あなたが大学・大学院で学ばれた（学ばれた）
学問分野をお答えください。（あてはまるもの1
須

☐ （理学）数学

☐ （理学）物理学

☐ （理学）その他（化学・地学など）

☐ （工学）電気通信工学（情報学、情報科学、電子情報学、データサイエンスなど）

☐ （工学）その他（機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学）

☐ 人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)

☐ 社会科学（法学、商学・経済学、社会学など）

☐ 農学(農学、農芸化学、農業工学、林学など)

☐ 保健(医学、歯学、薬学、看護学など)

☐ 商船（商船学）

☐ 家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)

☐ 教育(教育学、小・中・高校課程、保育、体育学など)

☐ 芸術(美術、デザイン、音楽など)

☐ その他(教養学、国際学、人間科学など)

☐ その他(具体的に入力してください)

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 複数選択

入力制限 ☒ 制限なし ☐ 数字 ☐ 英数字 ☐ メール ☐ 日付

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

Q7. リカレント教育、リスキリング教育又は大学で学ぶにおいて、興味がある学問分野を次の中から请选择してください。（あてはまるものすべて） **必須**

☐ （理学）数学

☐ （理学）物理学

☐ （理学）その他（化学・地学など）

☐ （工学）電気通信工学（情報学、情報科学、電子情報学、データサイエ

☐ （工学）その他（機械工学、土木建築工学、応用化学、応用理学）

☐ 人文科学(文学、史学、哲学、心理学など)

☐ 社会科学（法学、商学・経済学、社会学など）

☐ 農学(農学、農芸化学、農業工学、林学など)

☐ 保健(医学、歯学、薬学、看護学など)

☐ 商船（商船学）

☐ 家政(家政学、食物学、被服学、住居学など)

☐ 教育(教育学、小・中・高校課程、保育、体育学など)

☐ 芸術(美術、デザイン、音楽など)

☐ その他(教養学、国際学、人間科学など)

☐ その他(具体的に入力してください)

いずれかの選択肢を選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 複数選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

Q8. あなたが大学院進学を希望される場合、志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（あてはまるものすべて）

必須

☐ 国立

☐ 公立

☐ 私立

いずれかの選択肢を選択してください

つぎへ

設問タイプ

 説明ページ

☐ 長辺合わせ

ここからは以下・明治学院大学大学院「情報
数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課
程・博士後期課程(仮称)」に関する概要資料
を見てからお答えください

明治学院大学大学院 情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程 (仮称)				
概要	修業年限	入学定員	学位名称	キャンパス
2027年度4月	3年	15名	修士(情報数理学)	横浜
設置の趣意				
情報数理学専攻は、「Data for Others」理念への実践の場として、(前期課程で人と社会に貢献する)という教育理念のもと、情報数理学の発展と、社会の発展に貢献する人材の育成とを目的として設置する。				
養成する人材像				
1. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 2. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 3. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。				
養成の特徴				
・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 ・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 ・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。				
アドミッションポリシー				
1. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 2. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 3. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。				
身につける能力				
1. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 2. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 3. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。				
養成する教員の素養				
・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 ・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 ・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。				
養成する大学院				
明治学院大学大学院 情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程 (仮称)				
横浜校の教育研究拠点となる施設 (明治学院大学横浜キャンパス)				
11号館 6階 (2025年度)				
11号館 7階 (2025年度)				
11号館 8階 (2025年度)				

明治学院大学大学院 情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程 (仮称)				
概要	修業年限	入学定員	学位名称	キャンパス
2027年度4月	3年	15名	博士(情報数理学)	横浜
設置の趣意				
情報数理学専攻は、「Data for Others」理念への実践の場として、(前期課程で人と社会に貢献する)という教育理念のもと、情報数理学の発展と、社会の発展に貢献する人材の育成とを目的として設置する。				
養成する人材像				
1. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 2. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 3. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。				
養成の特徴				
・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 ・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 ・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。				
アドミッションポリシー				
1. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 2. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 3. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。				
身につける能力				
1. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 2. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 3. 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。				
養成する教員の素養				
・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 ・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。 ・ 情報数理学の発展と社会に貢献する人材の育成を目的とする。				
養成する大学院				
明治学院大学大学院 情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程 (仮称)				
横浜校の教育研究拠点となる施設 (明治学院大学横浜キャンパス)				
11号館 6階 (2025年度)				
11号館 7階 (2025年度)				
11号館 8階 (2025年度)				

つぎへ

設問タイプ

☒ 単一選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ プルダウン形式

設問表示条件

設問 Q5.あなたの最終学歴をお答えください。(見込みも含む)

回答 いずれか

☒ 大学 ☐ 大学院（修士） ☐ 大学院（博士）

Q9. 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」への受験を希望しますか。 **必須**

☐ 第一志望として受験する

☐ 第二志望として受験する

☐ 第三志望以降として受験する

☐ 受験しない

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 単一選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ プルダウン形式

Q10. 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。 **必須**

☐ 入学する

☐ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

設問表示条件

設問 Q9.明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」への受験を希望しますか。

回答 いずれか

- ☒ 第一志望として受験する ☒ 第二志望として受験する
☒ 第三志望以降として受験する ☐ 受験しない

☐ 入学しない

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 単一選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ プルダウン形式

設問表示条件

Q10. 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。

回答 いずれか

☒ 入学する

☒ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

☐ 入学しない

Q11. 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」へ入学を希望される時期についてお答えください。以下のの中から1つ選んでください。 **必須**

☐ 2027年度(開設年度)

☐ 2028年度以降

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 単一選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ プルダウン形式

設問表示条件

設問 Q5. あなたの最終学歴をお答えください。(見込みも含む)

回答 いずれか

Q12. 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」への受験を希望しますか。 **必須**

☐ 第一志望として受験する

☐ 第二志望として受験する

☐ 第三志望以降として受験する

☐ 受験しない

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

☐ 大学 ☒ 大学院（修士） ☒ 大学院（博士）

設問タイプ

☒ 単一選択

☐ 選択肢を引き継ぐ

☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示

☒ 回答必須

☐ プルダウン形式

設問表示条件

設問 Q12.明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」への受験を希望しますか。

回答 いずれか

☒ 第一志望として受験する ☒ 第二志望として受験する

☒ 第三志望以降として受験する ☐ 受験しない

Q13. 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。 **必須**

☐ 入学する

☐ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

☐ 入学しない

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

設問タイプ

☒ 単一選択

Q14. 明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」

- ☐ 選択肢を引き継ぐ
- ☐ 回答者によって選択肢の順番をランダム表示
- ☒ 回答必須 ☐ プルダウン形式

設問表示条件

Q13.明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」を受験して合格した場合、入学を希望しますか。

回答 いずれか

- ☒ 入学する
- ☒ 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ☐ 入学しない

へ入学を希望される時期についてお答えください。以下の中から1つ選んでください。 **必須**

☐ 2027年度(開設年度)

☐ 2028年度以降

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

ありがとうございました

明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻

博士前期課程・博士後期課程(仮称)」概要

概 要				
開 設 時 期	修 業 年 限	入 学 定 員	学 位 名 称	キャンパス
2027(令和9)年4月	2年	15名	修士(情報数理学)	横浜
設 置 の 理 念				
情報数理学研究科は、“Do for Others(他者への貢献)”の精神に基づき、「情報科学技術で人と社会に貢献する」という教育理念のもと、情報数理学を基盤として社会のさまざまな場面で活躍できる高度な能力を持つ人材を養成する。				
養 成 す る 人 材 像				
1. 情報数理学の素養を用いて人と社会に貢献する情報科学技術を開発する応用力・問題解決能力を有する高度専門職業人 2. 情報科学の技術革新に対し、情報数理学の技術や知識を用い、明治学院大学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”に基づく倫理感をもって貢献できる人材				
専 攻 の 特 色				
・ 数理を軸とした最先端の情報科学教育を通じて、社会的需要に応える人材を養成 ・ コースワーク科目の多くは、対面とオンラインを併用するハイフレックス型授業形態で開講されるため、キャンパス外からの受講が可能 ・ メンター制度を導入し、ハラスメントの未然防止を含む、学生の教育研究環境の充実を図る支援体制を整備				
ア ド ミ ッ シ ョ ン ポ リ シ ー				
1. 情報数理学の高度な研究に取り組む前提として、学士課程で修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。 2. 本学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”の意義を理解し、数理学および情報技術の人と社会への還元に関する興味・関心を持ち、高度専門職業人として社会に貢献する強い意欲を持っている。 3. 情報技術が社会や人に与える影響を深く考え、倫理的な視点から物事を判断できる能力を有している。				
身 に つ け る 能 力				
AI（人工知能）、量子情報、情報システム・セキュリティといった次世代の情報処理パラダイムを支える数学的原理を理解し、その情報処理を活用・改良できる技量と知識				
想 定 す る 修 了 後 の 進 路			学 納 金	
・ 情報処理・情報通信産業の民間企業等の技術職、管理職 ・ データ分析を専門とする官公庁、民間企業等の技術職、管理職 など			初年度合計：876,000円 (入学金：150,000円、授業料他：726,000円) 修業年限合計：876,000円＋726,000円＝1,602,000円	
競 合 す る 大 学 院			ア ク セ ス	
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻 中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻 神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻 東海大学大学院 理学研究科 数理学専攻 横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻			※乗り換えなどの時間は含んでおりません。	
研究科の教育研究拠点となる校舎（明治学院大学横浜キャンパス）				
11号館 外観（2025年完成） 11号館 学生ラウンジ 11号館 大学院生室（合計2室）				

— 學生確保(資料) — 63 —

明治学院大学大学院

情報数理学研究科 情報数理学専攻

博士前期課程・博士後期課程(仮称)

設置構想についての人材需要アンケート調査

報告書

1.人材需要アンケート調査 概要

調査目的	令和9年（2027年）度に明治学院大学大学院が設置構想中の「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」（入学定員15人）、「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」（入学定員2人）における修了後の採用・就職（人材需要）の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	[調査対象] 大学院情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程・博士後期課程(仮称)の就職先として想定される地方公共団体や企業等 [業種] 情報通信業、IT関連業、製造業など [調査地域] 主に東京都・神奈川県を中心とするエリア [依頼件数] 999件
調査内容	・回答対象先の基本情報（所在地・業種・従業員／職員規模） ・明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程・博士後期課程(仮称)」修了生の人材ニーズ ・明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程・博士後期課程(仮称)」修了生の採用意向
調査時期	令和7年12月～令和8年1月
調査方法	調査対象事業所に対し依頼状を郵送しWEBフォームからのアンケート実施を依頼。
回収件数	有効回答数96件（回収率9.6%）

2.人材需要アンケート調査 集計結果

※「回答割合」（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴社の本社または貴団体の本部所在地について、お答えください。

選択肢	回答数	回答割合
北海道	0	0.0%
青森県	1	1.0%
岩手県	0	0.0%
宮城県	0	0.0%
秋田県	0	0.0%
山形県	0	0.0%
福島県	0	0.0%
茨城県	0	0.0%
栃木県	0	0.0%
群馬県	0	0.0%
埼玉県	0	0.0%
千葉県	0	0.0%
東京都	76	79.2%
神奈川県	17	17.7%
新潟県	0	0.0%
富山県	1	1.0%
石川県	0	0.0%
福井県	0	0.0%
山梨県	0	0.0%
長野県	0	0.0%
岐阜県	0	0.0%
静岡県	0	0.0%
愛知県	0	0.0%
三重県	0	0.0%

選択肢	回答数	回答割合
滋賀県	0	0.0%
京都府	0	0.0%
大阪府	0	0.0%
兵庫県	0	0.0%
奈良県	0	0.0%
和歌山県	0	0.0%
鳥取県	0	0.0%
島根県	0	0.0%
岡山県	0	0.0%
広島県	0	0.0%
山口県	0	0.0%
徳島県	0	0.0%
香川県	0	0.0%
愛媛県	0	0.0%
高知県	0	0.0%
福岡県	0	0.0%
佐賀県	0	0.0%
長崎県	0	0.0%
熊本県	0	0.0%
大分県	0	0.0%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	0	0.0%
沖縄県	1	1.0%
無回答	0	0.0%
合計	96	100.0%

問2 貴社・貴団体の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
農業、林業、漁業、鉱業	0	0.0%
建設業	2	2.1%
製造業	26	27.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
情報通信業、IT関連業	62	64.6%
運輸業、郵便業	0	0.0%
卸売業、小売業	2	2.1%
金融業、保険業	0	0.0%
不動産業、物品賃貸業	0	0.0%
学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0%
宿泊業、飲食サービス業	0	0.0%
生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0%
教育、学習支援業	0	0.0%
医療、福祉	0	0.0%
その他サービス業	3	3.1%
国家公務	1	1.0%
地方公務	0	0.0%
非営利団体	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	96	100.0%

問3 貴社・貴団体の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
20名未満	0	0.0%
20名以上50名未満	0	0.0%
50名以上100名未満	1	1.0%
100名以上300名未満	5	5.2%
300名以上1,000名未満	62	64.6%
1,000名以上	28	29.2%
無回答	0	0.0%
合計	96	100.0%

問4 明治学院大学が設置構想中の大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」が養成する人材についての社会的な人材ニーズについてお答えください。(あてはまるもの1つ)

選択肢	回答数	回答割合
ニーズは高い	58	60.4%
ニーズはある程度高い	31	32.3%
ニーズはあまりない	4	4.2%
ニーズはない	0	0.0%
わからない	3	3.1%
無回答	0	0.0%
合計	96	100.0%

問5 明治学院大学が設置構想中の大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」が養成する人材について採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つ)

選択肢	回答数	回答割合
採用したい	73	76.0%
採用しない	2	2.1%
わからない	21	21.9%
無回答	0	0.0%
合計	96	100.0%

問6 問5で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
1人	23	31.5%
2人	20	27.4%
3人	13	17.8%
4人	1	1.4%
5人以上	16	21.9%
無回答	0	0.0%
合計	73	100.0%

※問6の回答割合は問5で「採用したい」を選択した73事業所を全回答者数として算出。

問7 貴社・貴機関で勤務される人材に対し、明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」で学ぶことを推奨したいと思われませんか。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
大いに推奨したい	22	22.9%
どちらかと言えば推奨したい	33	34.4%
どちらとも言えない	38	39.6%
どちらかと言えば推奨しない	2	2.1%
全く推奨しない	1	1.0%
無回答	0	0.0%
合計	96	100.0%

問8 明治学院大学が設置構想中の大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」が養成する人材についての社会的な人材ニーズについてお答えください。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
ニーズは高い	54	56.3%
ニーズはある程度高い	32	33.3%
ニーズはあまりない	3	3.1%
ニーズはない	1	1.0%
わからない	6	6.3%
無回答	0	0.0%
合計	96	100.0%

問9 明治学院大学が設置構想中の大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」が養成する人材について採用したいと思われませんか。（あてはまるもの1つ）

選択肢	回答数	回答割合
採用したい	64	66.7%
採用しない	3	3.1%
わからない	29	30.2%
無回答	0	0.0%
合計	96	100.0%

問１０ 問９で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。

選択肢	回答数	回答割合
1人	27	42.2%
2人	10	15.6%
3人	10	15.6%
4人	1	1.6%
5人以上	16	25.0%
無回答	0	0.0%
合計	64	100.0%

※問１０の回答割合は問９で「採用したい」を選択した 64事業所を全回答者数として算出。

問１１ 貴社・貴機関で勤務される人材に対し、明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」で学ぶことを推奨したいと思われますか。（あてはまるもの１つ）

選択肢	回答数	回答割合
大いに推奨したい	23	24.0%
どちらかと言えば推奨したい	31	32.3%
どちらとも言えない	39	40.6%
どちらかと言えば推奨しない	2	2.1%
全く推奨しない	1	1.0%
無回答	0	0.0%
合計	96	100.0%

※明治学院大学の本構想について期待される点、ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

番号	回答
1	残念ながら当社にはありませんが、社内に研究所を有する企業であればニーズがあるのではと考えます。
2	当社では、大学院博士後期課程出身者の採用はしていないので、採用しないにチェックを入れましたが、今後ますます重要になる分野だと思います。
3	情報処理業にとって基礎知識があるかたの採用は難しく、人材育成の機会を設けていただけることは、大変喜ばしく思います。
4	弊社でもAI関連の業務範囲が広がっておりますので、機会がございましたら、ぜひ採用させていただきたいと存じます。
5	「貴学の理念や精神に基づく倫理観を体現できるようになること」を、養成人材像の要素の一つとされていることが、一貫した貴学の考え方や方針を表しており、非常に好印象であると感じました。他学でも同様の学部・学科等が散見される中、貴学ならではの特徴や価値の付け方、もしくは、新たな視点での学びの実践、といったものに、昇華していけることをご祈念しております。
6	社会的なニーズは高いと思いますが、弊社の事業との親和性が低いため、採用しない、推奨しない、と回答させていただきます。
7	26卒の学生様で1名、内定のご承諾を頂きました。 今後とも良きご縁が続きますよう尽力して参ります。 今後ともよろしくお願い申し上げます。
8	数理的な原理を深く理解し、それを情報処理に応用・改良できる知識と技術を持つ学生は、当社の成長を支える重要な存在です。そうした力を持つ皆さんを、ぜひ採用したいと考えています。
9	情報数理学の素養を持ち、情報通信業界で活躍したいという高い意志を持った人材の育成に期待しています。 ただ当社に限って言うと、研究職よりも現場で活躍する人材を求めているため、後期課程の方については、ご希望される業務をご提供できない可能性もあると感じました。
10	現代の社会課題に対し、非常に強力な戦力となることが期待できると存じます。ぜひ前向きにご検討いただけますと幸いです。
11	理系人材の需要は高いですが、学生が少なく、弊社では採用が困難な状況のため、是非採用したいです。
12	情報数理学という観点から、社会に大いに貢献する貴学の学生様が輩出されていくことが非常に楽しみです。 資料を拝見させていただき、情報が資源として重要視される現代において非常にニーズの高い分野を学ぶことができる貴重な環境であると感じました。 今後も、貴学で培われた専門性と柔軟な思考力を持つ学生様が、様々な分野でご活躍されることを心より期待しております。
13	情報学部でありながら、簡単なプログラミング言語経験があるのみで、例えばネットワーク機器やセキュリティ製品に触ったことがない学生が多いです。開発経験はもちろん重要なスキルですが、実機に触ってITインフラ分野に触れた経験のある学生は、他の学生よりも情報システムに対する理解を深められるため、他大学の学生よりも魅力的に映るのではないかと考えています。そのため、ぜひ実機に触って手を動かす経験を多く持つ学生の育成に期待しています。

3.人材需要アンケート調査 結果の要点

■情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)

採用意向集計結果（「2. 人材需要アンケート調査 集計結果」より）

明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」で養成する人材のニーズについては「ニーズは高い」58事業所(60.4%)、「ニーズはある程度高い」31事業所(32.3%)で合計すると89事業所(92.7%)がそのニーズの高さを認める結果となった。
また、73事業所(76.0%)が採用意向を示し、その上での採用可能人数(単年度)合計は予定する入学定員15人の12.4倍となる186人であった。

問4 養成する人材の社会ニーズ

人材ニーズは高い・ある程度高い	89事業所	92.7%
人材ニーズはない・あまりない	4事業所	4.2%
わからない・無回答	3事業所	3.1%
合計	96事業所	100.0%

問5 卒業生の採用意向

採用したい	73事業所	76.0%
採用しない	2事業所	2.1%
わからない・無回答	21事業所	21.9%
合計	96事業所	100.0%

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	合計
「採用したい」の回答数	23	20	13	1	16	0	73
採用可能人数計 (回答数×採用可能人数)	23人	40人	39人	4人	80人	0人	186人

※「5人以上」は5人として計算した。

※採用可能人数へ無回答の場合は集計から除外した。

■情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)

採用意向集計結果（「2. 人材需要アンケート調査 集計結果」より）

明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」で養成する人材のニーズについては「ニーズは高い」54事業所(56.3%)、「ニーズはある程度高い」32事業所(33.3%)で合計すると86事業所(89.6%)がそのニーズの高さを認める結果となった。
また、64事業所(66.7%)が採用意向を示し、その上での採用可能人数(単年度)合計は予定する入学定員2人の80.5倍となる161人であった。

問8 養成する人材の社会ニーズ

人材ニーズは高い・ある程度高い	86事業所	89.6%
人材ニーズはない・あまりない	4事業所	4.2%
わからない・無回答	6事業所	6.3%
合計	96事業所	100.0%

問9 卒業生の採用意向

採用したい	64事業所	66.7%
採用しない	3事業所	3.1%
わからない・無回答	29事業所	30.2%
合計	96事業所	100.0%

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	合計
「採用したい」の回答数	27	10	10	1	16	0	64
採用可能人数計 (回答数×採用可能人数)	27人	20人	30人	4人	80人	0人	161人

※「5人以上」は5人として計算した。

※採用可能人数へ無回答の場合は集計から除外した。

人材需要アンケート調査WEB画面

明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程・博士後期課 程(仮称)」設置構想についての 人材需要アンケート調査

(対象：人事・採用ご担当者様)

本学では、令和9(2027)年4月、大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程・博士後期課程(仮称)」の設置を構想しております。同研究科についての概要資料をご覧の上、採用意向に関する調査にご協力をお願いします。なお、この調査の結果は、統計資料としてのみ用い、他の用途に使用することはありません。また、本構想は予定であり、今後変更となる可能性があります。

※本アンケート調査は明治学院大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケート調査および概要資料に記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

アンケート調査開始時のお願い **必須**

※本アンケート調査への回答は1回のみとなります。本アンケート調査と同一内容の明治学院大学が実施したアンケートに過去に回答した方は回答できません。

☐ 同意して回答する

問1 貴社の本社または貴団体の本部所在地について、お答えください。

必須

選択してください



問2 貴社・貴団体の業種（主な事業内容）として、最もあてはまるものをお選びください。（あてはまるもの1つ） **必須**

☐ 農業、林業、漁業、鉱業

☐ 建設業

☐ 製造業

☐ 電気・ガス・熱供給・水道業

☐ 情報通信業、IT関連業

☐ 運輸業、郵便業

☐ 卸売業、小売業

☐ 金融業、保険業

☐ 不動産業、物品賃貸業

☐ 学術研究、専門・技術サービス業

☐ 宿泊業、飲食サービス業

☐ 生活関連サービス業、娯楽業

☐ 教育、学習支援業

☐ 医療、福祉

☐ その他サービス業

☐ 国家公務

☐ 地方公務

☐ 非営利団体

☐ その他

問3 貴社・貴団体の従業員・職員規模として、最もあてはまるものをお選びください。(あてはまるもの1つ) **必須**

☐ 20名未満

☐ 20名以上50名未満

☐ 50名以上100名未満

☐ 100名以上300名未満

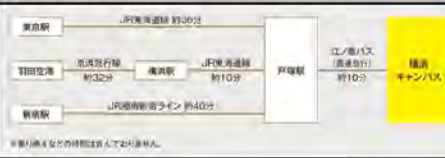
☐ 300名以上1,000名未満

☐ 1,000名以上

ここからは以下・明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻
博士前期課程・博士後期課程(仮称)」に関する概要資料を見てからお答えく
ださい

概要				
開設時期	修業年限	入学定員	学位名称	キャンパス
2027(令和9)年4月	2年	15名	修士(情報数理学)	横浜
設置の理念				
情報数理学研究科は、「Do for Others(他者への貢献)」の精神に基づき、「情報科学技術で人と社会に貢献する」という教育理念のもと、情報数理学を基盤として社会のさまざまな場面で活躍できる高度な能力を持つ人材を養成する。				
養成する人材像				
1. 情報数理学の素養を用いて人と社会に貢献する情報科学技術を開発する応用力・問題解決能力を有する高度専門職業人 2. 情報科学の技術革新に対し、情報数理学の技術や知識を用い、明治学院大学の教育理念である「Do for Others(他者への貢献)」に基づく倫理感をもって貢献できる人材				
専攻の特色				
・ 数理を軸とした最先端の情報科学教育を通じて、社会的需要に応える人材を養成 ・ コースワーク科目の多くは、対面とオンラインを併用するハイフレックス型授業形態で開講されるため、キャンパス外からの受講が可能 ・ メンター制度を導入し、ハラスメントの未然防止を含む、学生の教育研究環境の充実を図る支援体制を整備				
アドミッションポリシー				
1. 情報数理学の高度な研究に取り組む前提として、学士課程で修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。 2. 本学の教育理念である「Do for Others(他者への貢献)」の意義を理解し、数理学および情報技術の人と社会への還元に関する興味・関心を持ち、高度専門職業人として社会に貢献する強い意欲を持っている。 3. 情報技術が社会や人に与える影響を深く考え、倫理的な視点から物事を判断できる能力を有している。				
身につける能力				
AI(人工知能)、量子情報、情報システム・セキュリティといった次世代の情報処理パラダイムを支える数学的原理を理解し、その情報処理を活用・改良できる技量と知識				
想定する修了後の進路		学納金		
・ 情報処理・情報通信産業の民間企業等の技術職、管理職 ・ データ分析を専門とする官公庁、民間企業等の技術職、管理職 など		初年度合計：876,000円 (入学金：150,000円、授業料他：726,000円) 修業年限合計：876,000円＋726,000円＝1,602,000円		
競合する大学院		アクセス		
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻 中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻 神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻 東海大学大学院 理学研究科 数理学専攻 横浜国立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻		 ※乗り換えなどの時間は含んでおりません。		
研究科の教育研究拠点となる校舎（明治学院大学横浜キャンパス）				
11号館 外観（2025年完成）11号館 学生ラウンジ11号館 大学院生室（合計2室）				

※上記は構想中の概要であり、変更となる可能性があります。

明治学院大学大学院 情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程 (仮称)				設置 構想中
概要				
開設時期	修業年限	入学定員	学位名称	キャンパス
2027(令和9)年4月	3年	2名	博士(情報数理学)	横浜
設置の理念				
情報数理学研究科は、“Do for Others(他者への貢献)”の精神に基づき、「情報科学技術で人と社会に貢献する」という教育理念のもと、情報数理学を基盤として社会のさまざまな場面で活躍できる高度な能力を持つ人材を養成する。				
養成する人材像				
1. 情報数理学の素養を駆使して基礎研究、実践研究、および両者を統合した研究を独立して遂行し学術の深耕を行うことのできる、企業における研究開発人材および大学等の教員・研究者 2. 情報科学の技術革新に対し、情報数理学の技術や知識を用い、明治学院大学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”に基づく倫理感をもって体现できる人材				
専攻の特色				
・ 数理を軸とした最先端の情報科学教育を通じて、社会的需要に応える人材を養成 ・ コースワーク科目は、対面とオンラインを併用するハイフレックス型授業形態で開講されるため、キャンパス外からの受講が可能 ・ メンター制度を導入し、ハラスメントの未然防止を含む、学生の教育研究環境の充実を図る支援体制を整備				
アドミッションポリシー				
1. 情報数理学の高度な研究に取り組む前提として、博士前期課程または修士課程で修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。 2. 本学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”の意義を理解し、数理科学および情報技術の人と社会への還元に対する深い関心と強い課題探究心を持ち、教育者または研究者として社会に貢献する強い意欲を持っている。 3. 情報技術の教育者または研究者を目指す者として、高い倫理観と社会規範を身につけている。				
身につける能力				
AI(人工知能)、量子情報、情報システム・セキュリティといった次世代の情報処理パラダイムを支える数学的原理を数理の視点で分解し適切に変容して推し進め、新たな情報処理を設計する技量と知識				
想定する修了後の進路		学納金		
・ 情報処理・情報通信産業の民間企業等における研究開発職 ・ データ分析手法の開発を専門とする官公庁、民間企業等の研究開発職 ・ 大学等の情報系学部の教員・研究者		初年度合計：876,000円 (入学金：150,000円、授業料他：726,000円) 修業年限合計：876,000円＋1,452,000円＝2,328,000円		
競合する大学院		アクセス		
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻 中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻 神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻 東海大学大学院 理学研究科 数理学専攻 横浜国立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻				
研究科の教育研究拠点となる校舎 (明治学院大学横浜キャンパス)				
  				
11号館 外観 (2025年完成)		11号館 学生ラウンジ		11号館 大学院生室 (合計2室)

※上記は構想中の概要であり、変更となる可能性があります。

◆明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」についてお聞きします。

問4 明治学院大学が設置構想中の大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」が養成する人材についての社会的な人材ニーズについてお答えください。(あてはまるもの1つ) **必須**

☐ ニーズは高い

☐ ニーズはある程度高い

☐ ニーズはあまりない

☐ ニーズはない

☐ わからない

問5 明治学院大学が設置構想中の大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」が養成する人材について採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つ) **必須**

☒ 採用したい

☐ 採用しない

☐ わからない

問6 問5で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお答えください。 **必須**

☐ 1人

☐ 2人

☐ 3人

☐ 4人

☐ 5人以上

問7 貴社・貴機関で勤務される人材に対し、明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士前期課程(仮称)」で学ぶことを推奨したいと思われませんか。(あてはまるもの1つ) **必須**

☐ 大いに推奨したい

☐ どちらかと言えば推奨したい

☐ どちらとも言えない

☐ どちらかと言えば推奨しない

☐ 全く推奨しない

◆明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」についてお聞きします。

問8 明治学院大学が設置構想中の大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」が養成する人材についての社会的な人材ニーズについてお答えください。(あてはまるもの1つ) **必須**

☐ ニーズは高い

☐ ニーズはある程度高い

☐ ニーズはあまりない

☐ ニーズはない

☐ わからない

問9 明治学院大学が設置構想中の大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」が養成する人材について採用したいと思われ
ますか。(あてはまるもの1つ) **必須**

☒ 採用したい

☐ 採用しない

☐ わからない

問10 問9で「採用したい」とされた場合、単年度で採用可能な人数をお
答えください。 **必須**

☐ 1人

☐ 2人

☐ 3人

☐ 4人

☐ 5人以上

問11 貴社・貴機関で勤務される人材に対し、明治学院大学大学院「情報
数理学研究科 情報数理学専攻 博士後期課程(仮称)」で学ぶことを推奨したい
と思われませんか。(あてはまるもの1つ) **必須**

☐ 大いに推奨したい

☐ どちらかと言えば推奨したい

☐ どちらとも言えない

☐ どちらかと言えば推奨しない

☐ 全く推奨しない

※明治学院大学の本構想について期待される点、ご要望がありましたらご自
由にご記入ください。 **任意**

※宜しければ貴社名をお教えてください。こちらは、どの企業にご返送いただいたかを把握するための質問であり、アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・団体が識別できる情報として公表されることはありません。

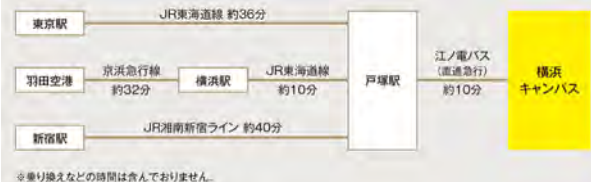
任意

送信

明治学院大学大学院「情報数理学研究科 情報数理学専攻

博士前期課程・博士後期課程(仮称)」概要

概 要				
開 設 時 期	修 業 年 限	入 学 定 員	学 位 名 称	キャンパス
2027(令和9)年4月	2年	15名	修士(情報数理学)	横浜
設 置 の 理 念				
情報数理学研究科は、“Do for Others(他者への貢献)”の精神に基づき、「情報科学技術で人と社会に貢献する」という教育理念のもと、情報数理学を基盤として社会のさまざまな場面で活躍できる高度な能力を持つ人材を養成する。				
養 成 す る 人 材 像				
1. 情報数理学の素養を用いて人と社会に貢献する情報科学技術を開発する応用力・問題解決能力を有する高度専門職業人 2. 情報科学の技術革新に対し、情報数理学の技術や知識を用い、明治学院大学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”に基づく倫理感をもって貢献できる人材				
専 攻 の 特 色				
・ 数理を軸とした最先端の情報科学教育を通じて、社会的需要に応える人材を養成 ・ コースワーク科目の多くは、対面とオンラインを併用するハイフレックス型授業形態で開講されるため、キャンパス外からの受講が可能 ・ メンター制度を導入し、ハラスメントの未然防止を含む、学生の教育研究環境の充実を図る支援体制を整備				
アドミッションポリシー				
1. 情報数理学の高度な研究に取り組む前提として、学士課程で修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。 2. 本学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”の意義を理解し、数理学および情報技術の人と社会への還元に関する興味・関心を持ち、高度専門職業人として社会に貢献する強い意欲を持っている。 3. 情報技術が社会や人に与える影響を深く考え、倫理的な視点から物事を判断できる能力を有している。				
身につける能力				
AI（人工知能）、量子情報、情報システム・セキュリティといった次世代の情報処理パラダイムを支える数学的原理を理解し、その情報処理を活用・改良できる技量と知識				
想 定 す る 修 了 後 の 進 路			学 納 金	
・ 情報処理・情報通信産業の民間企業等の技術職、管理職 ・ データ分析を専門とする官公庁、民間企業等の技術職、管理職 など			初年度合計：876,000円 (入学金：150,000円、授業料他：726,000円) 修業年限合計：876,000円+726,000円=1,602,000円	
競 合 す る 大 学 院			ア ク セ ス	
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻 中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻 神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻 東海大学大学院 理学研究科 数理学専攻 横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻			※乗り換えなどの時間は含んでおりません。	
研究科の教育研究拠点となる校舎（明治学院大学横浜キャンパス）				
11号館 外観（2025年完成） 11号館 学生ラウンジ 11号館 大学院生室（合計2室）				

概 要				
開 設 時 期	修 業 年 限	入 学 定 員	学 位 名 称	キ ャ ン パ ス
2027(令和9)年4月	3年	2名	博士(情報数理学)	横浜
設 置 の 理 念				
情報数理学研究科は、“Do for Others(他者への貢献)”の精神に基づき、「情報科学技術で人と社会に貢献する」という教育理念のもと、情報数理学を基盤として社会のさまざまな場面で活躍できる高度な能力を持つ人材を養成する。				
養 成 す る 人 材 像				
1. 情報数理学の素養を駆使して基礎研究、実践研究、および両者を統合した研究を独立して遂行し学術の深耕を行うことのできる、企業における研究開発人材および大学等の教員・研究者 2. 情報科学の技術革新に対し、情報数理学の技術や知識を用い、明治学院大学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”に基づく倫理感をもって体现できる人材				
専 攻 の 特 色				
・ 数理を軸とした最先端の情報科学教育を通じて、社会的需要に応える人材を養成 ・ コースワーク科目は、対面とオンラインを併用するハイフレックス型授業形態で開講されるため、キャンパス外からの受講が可能 ・ メンター制度を導入し、ハラスメントの未然防止を含む、学生の教育研究環境の充実を図る支援体制を整備				
ア ド ミ ッ シ ョ ン ポ リ シ ー				
1. 情報数理学の高度な研究に取り組む前提として、博士前期課程または修士課程で修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。 2. 本学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”の意義を理解し、数理科学および情報技術の人と社会への還元に対する深い関心と強い課題探究心を持ち、教育者または研究者として社会に貢献する強い意欲を持っている。 3. 情報技術の教育者または研究者を目指す者として、高い倫理観と社会規範を身につけている。				
身 に つ け る 能 力				
AI（人工知能）、量子情報、情報システム・セキュリティといった次世代の情報処理パラダイムを支える数学的原理を数理の視点で分解し適切に変容して推し進め、新たな情報処理を設計する技量と知識				
想 定 す る 修 了 後 の 進 路		学 納 金		
・ 情報処理・情報通信産業の民間企業等における研究開発職 ・ データ分析手法の開発を専門とする官公庁、民間企業等の研究開発職 ・ 大学等の情報系学部の教員・研究者		初年度合計：876,000円 （入学金：150,000円、授業料他：726,000円） 修業年限合計：876,000円＋1,452,000円＝2,328,000円		
競 合 す る 大 学 院		ア ク セ ス		
青山学院大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻 中央大学大学院 理工学研究科 ビジネスデータサイエンス専攻 神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻 東海大学大学院 理学研究科 数理科学専攻 横浜国立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻		 ※乗り換えなどの時間は含んでおりません。		
研究科の教育研究拠点となる校舎（明治学院大学横浜キャンパス）				
 11号館 外観（2025年完成）  11号館 学生ラウンジ  11号館 大学院生室（合計2室）				

※乗り換えなどの時間は含んでおりません。